



定期的に行われる街頭指導

春の全国交通安全運動

交通事故防止の徹底を図る

酒飲み運転等によるものが多く、大事故になる場合が数多く見受けられます。大事故を起こした場合は、当事者だけでなく、家族等までも巻添えにすることになり、一生取り返しのつかないこととなります。

みなさんも交通戦争の巻添えにならないよう、余裕をもった運転を心掛けましょう。

安全運転の8箇条

- ①スピードの出しすぎは絶対絶命です
ヤングの事故＝スピードの出しすぎ
- ②カーブの手前ではスピードを落としましょう
『慣性力・遠心力を忘れるな!』
- ③無理な追い越しはあの世行きです
致死率高い“正面衝突”
- ④一時停止を厳守しましょう
横断歩行者の安全を守る
- ⑤交差点では必ず安全を確かめましょう
黄色信号は“ストップサイン”
- ⑥シートベルトは命綱です
いつでも、どこでもシートベルト
- ⑦脱ヘルメットは違反点1点です
ミニバイクもヘルメットを忘れずに
- ⑧飲酒運転は絶対にしないようにしましょう
飲んだら乗るな、乗るなら飲むな

今年の春の全国交通安全運動は、5月11日から20日までの10日間行われます。

この運動は、町民のみなさん一人ひとりに交通安全思想の高揚を図るとともに、通ルールを守ることと交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

また、今年には子供と高齢者の交通事故防止・若者による無謀運転の追放・シートベルト、ヘルメットの正しい着用点がおかれ展開されます。

このため、町及び警察署等は交通安全対策を推進するため、街頭活動の強化・安全教育、広報活動の徹底・指導取締り・交通安全施設の点検整備を重点に行っていきます。



八日市場警察署 高橋交通課長

「…だろう。」運転から

「…かも知れない。」

運転に!

交通事故の現場では、「脇見をしてしまった。」・「ついスピードを出し過ぎてしまった。」などの弁解が多く聞かれます。そこには、「止まってくれらるだろう。」・「大丈夫だろう。」という前提があり、その前提に基づいて判断した結果が「脇見運転」であり、「速度の出し過ぎ」なのです。

「止まってくれないかも知れない。」・「車の陰に歩行者がいるかも知れない。」と考えることによって「見えない危険」も見ることができるとは。 「○○だろう。」運転から 「○○かも知れない。」予測運転に心掛けましょう。



帽子をプレゼントする交通安全指導員

帽子と苗木を贈呈

町と八匝交通安全対策協議会では、毎年各小学校へ入学する児童に交通安全を呼びかけています。今年も、4月6日の入学式には、各地区の交通安全指導員のみなさんが出席し、黄色の帽子・雪椿の苗木・下敷等を配りました。

死亡事故はシートベルトの着用で大巾にふせげます。